

～ 上田未来会議 ～ 学生版未来会議【まとめ】

日 時 令和2年10月30日(金) 15:00～16:10
会 場 別所温泉 足湯「ななくり」
参加人数 5名(担当としてスタッフも4名同席)

【学生による対談など…約60分】

今年度の振り返りや来年度に向けての決意表明(ファシリテーター:阿部理一氏)

- ・新型コロナウイルスの関係で思うように活動できなかった今年度を振り返りながら、この状況下での活動再開や、来年に向けた学生の決意表明などの場を設定した。
- ・ファシリテート役の阿部理一氏(長野大学4年生)により、参加した学生(長大生2名、上田女短生2名)から意見や思いを聞くことで、身近で色々な地域貢献などの取組が実践されていることを知り、語り合う有意義な機会とすることができた。



参加者それぞれの活動や決意表明など

(二藤さん:長野大学2年)

- ・「Mizu・マチ」サークルを設立、まちの活性化や川辺でのイベントを企画する。
- ・これまで実施できなかった分、今後、周囲を巻き込み大きなイベントを開催したい。

(山崎さん:長野大学1年)

- ・過去には「リンゴ農家」として後継者不足解消のための運営会社設立を考えた。
- ・現在、オンライン会議でのセミナー等を開催する学生団体の代表を目指して活動中。

(宇羽野さん:上田女子短期大学1年)

- ・「別所ガール」の取組で、今年は別所を「知る」ことから始め、来年は具体化する。
- ・過去6年分の百人一首9,000首を絞り込み、「上田乙女百人一首」を完成させる。
- ・観光地の名産として「美味だれ煎餅(仮称)」のデザイン、商品化を目指したい。

(堀本さん:上田女子短期大学1年)

- ・コロナ対策で別所線沿線バーチャルガイドだったが、来年は乗車してガイドしたい。
- ・別所線100周年とのコラボ企画として、駅に百人一首を飾ることも検討したい。

(阿部くん:長野大学4年)

- ・就職して「社会人」になる。会社への貢献が世の中の貢献につながると考える。

総括(ファシリテーターによる全体まとめ)

- ・自分で決め、意図した活動を続けていくことが大切。「自分ごと」として協力してもらえる人たちを巻き込みながら、今年できなかったことを成し遂げてほしい。
- ・路線変更は可能。来年以降「活動報告」のような会が持てることを願っている。